



“第67回長野県学生科学賞県知事賞 受賞！！”

本校1年生の松下郁果さん（高森中出身）が、「第67回長野県学生科学賞県知事賞」を受賞しました。多くの出品は部活単位での研究でしたが、松下さんは個人研究、研究作品は、『キアゲハの休眠条件～モンシロチョウやアゲハ、アオスジアゲハと比較して～』です。お父さんのアドバイスを受けながら、姉の研究を引き継ぎ、未解決であった休眠条件を明らかにしました。しかし、研究の過程で更なる疑問が生まれ、研究はまだまだ継続とのことです。



「**観察や研究の考察、大学生の姉と議論することがとても楽しい**」と目を輝かせて話してくれました。探究的な学びの重要性が言われていますが、”自分の好き”を追求していく姿勢はこれからも大切にしてもらいたいと思います。聞くところによると、様々な条件で観察する必要があるため、家の中にはたくさんの虫かごがあるとのことです。今後は中央審査（全国大会）に出品予定、さらにその先（世界大会）を目指して、頑張ってもらいたいです。

“スポーツの秋を堪能～秋季クラスマッチ～”

先日、雨により1日順延となってしまいましたが、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、卓球、バドミントンの6種目による「秋季クラスマッチ」が2日間にわたって開催されました。思い思いのクラスTシャツを着た700余名の全校生徒の歓声が、体育館やグラウンドに響き渡り、スポーツの秋を十分楽しんだようです。特に3年生は、最後の生徒会行事であるこのクラスマッチで心のエネルギーを充填し、これから本番を迎える大学受験など進路実現に向けて頑張ってくれることと思います。

